

愛西市教育委員会からのお知らせ (Vol.33)

愛西市教育委員会では、愛西市立小中学校の適正な規模等の検討並びに老朽化対策を進めています。今回 (Vol.33) は、「B 中学校 (仮称) 準備委員会に係る各検討部会の開催について」、「永和中学校屋内運動場 (=体育館) 老朽化対策基本構想・基本計画ワークショップについて」、お知らせします。

B 中学校 (仮称) 準備委員会に係る各検討部会の開催について

下記のとおり、B 中学校 (仮称) 準備委員会に係る各検討部会が開催されました。

B 中学校(仮称)準備委員会に係る施設・通学路部会 (令和 7 年 11 月 11 日開催)



八開・佐織地区の地図を用い、地域や保護者の目線から危険箇所を集約しました。集約した情報は、再編後の B 中学校 (仮称) での交通安全指導に活用します。

◆ いただいた意見の抜粋

- ・校内駐輪場は、現状のままでも再編後の利用に問題ない規模であるが、老朽化への対応は必要である。
- ・通学路の危険箇所について、子どもたちに聞く機会を設けてはどうか。



B 中学校(仮称)準備委員会に係る地域課題部会 (令和 7 年 11 月 25 日開催)



八開地区市民大会、佐織西中学校での校内の除草作業など、学校と地域の連携を再編後どのように行うか、また、PTA やコミュニティスクールについて、検討されました。

◆ いただいた意見の抜粋

【学校と地域の連携について】

- ・令和 7 年度まで行っていた佐織西中学校と愛西工科高等学校とのものづくり体験は、愛西工科高等学校が令和 12 年に閉校することに伴い、令和 8 年度より取りやめることとなった。再編後も状況に合わせて変更しつつ、地域との交流を続けるべき。

【PTA について】

- ・加入率が減少しているため、PTA での活動が子どもたちのためになることを理解してもらうことが必要だと思う。

永和中学校屋内運動場老朽化対策基本構想・基本計画ワークショップについて

永和中学校屋内運動場 老朽化対策基本構想・基本 計画ワークショップ (令和7年12月20日)

【永和中学校屋内運動場配置案】



永和中学校屋内運動場の老朽化対策の検討を行う上で、新しい屋内運動場の設計方針を定める必要があります。屋内運動場は教育のための施設であるだけでなく、地域の防災、交流の場等、様々な機能を合わせて持つことから、地域の意見を反映したいと考え、ワークショップを開催いたしました。

◆ ワークショップの様子



◆ いただいた意見の抜粋

【新しい屋内運動場に求めること】

- ・現状、雨漏りなどによって通常の利用ができていないため、一刻も早く学校の屋内運動場として子どもたちが通常の利用ができる環境を整備してほしい。
- ・室内の環境を整備するため、空調を設置してほしい。
- ・防災面を強化してほしい。

【新しい屋内運動場の配置について】

- ① グラウンドの北側に新しく建設
校舎からの移動が容易だが、既存校舎へ圧迫感、日影、職員室からグラウンドを見渡せない点が懸念点である。
- ② 現在の位置に新しく建設
現状と位置が変わらないため、生徒が利用しやすいが、工期中は屋内運動場の利用ができない。
- ③ グラウンドの南側に新しく建設
職員室からグラウンドが見渡せるため、生徒の様子が分かるが、校舎と屋内運動場の距離が長く、生徒の移動距離が長い。

【平屋建て、2階建てのどちらにするか】

- ・平屋建ての方が工期は短い、2階建ては避難所として安全であり、1階部分を駐車場等に活用できるのではないか。



市ホームページ

(これまでのチラシもご覧いただけます)

お問い合わせ先 愛西市教育委員会事務局教育部学校教育課
0567-55-7136 / gakkou-kyoiku@city.aisai.lg.jp